



けいせん



2012.10.4

「ここで運動会をするんですか？」 桜の木がどっしり根をしっかりとっているように、決して広いとは言えない園庭を見られた見学の方はよく驚かれます。小学校の校庭で運動会を行う園もありますが、私たちは子どもたちに慣れた場所ので安心して楽しむという原動力から、毎年園庭で運動会を行っています。応援席は、保護者の方と、お客様でぎゅうぎゅうで申し訳ないのですが...

今年もそれぞれの学年で運動会の準備や取りくみをしています。園庭でやっているクラスの様子をじーっと見るのも楽しい。見てもらうのもうれしい。自然と刺激を受け合っています。

取りくみの様子を見てみると、一人ひとりの心の動きも見えてきます。「やりたい」「してほい」「できるかなあ」「できたかも」「楽しい」「うれしい」「くやしい」「できるようにやりたい」「やってみたら楽しかった」などなど。大人はそんな心の内を察知しようとしたり、察善したりしますが、子どもたちは言葉で、表情で、行動で表してくれます。そんな感情を今のうちに十分に味わってほしいのです。そして、「できなかったけれど一生懸命やったね」「できた!」を共有したいと思っています。

子どもたちがよく口に「みてー」という声。何か挑戦してできるとうれしいのは大人もそうですが、子どもたちにとっては、できたことと同じにそれを見ていてくれる人がいてことの喜びも大きいもの。その子のとびさりの笑顔は見ていて、私たちにも大きな喜びを与えてくれます。

小さい時に「みてー」と言われるのはちやと困る...。でも、子どもたちと気持ちを共有でき、一緒に喜びを感じられるサイン、「みてー」を大切にしたいと思います。

さて、運動会は子どもたち一人ひとりの「みてー」が集まった日。

どうぞ子どもたちの表現、表情、つばやき、そして心の動きをしっかりと見て感じてください。その喜びや楽しさ、くやしさを共有しましょう。先生の方がいららなくてはいけません。緊張してかたまってしまっている子もいると思います。でも、それもその時の心が表れた姿。できる、できないではなく今のありのままの姿を受けとめ、あたたかく見守り、その気持ちも共有してあげたいと思っています。

そのためにもできることならカメラやビデオのファインダーを通してではなく、そのまの姿を見てほしいのです。小さな画面では一人の様子がわからず全体の様子や流れはわかりません。(中間の中で、中間と一緒になって輝いているお子様の姿をぜひご覧になってください。子どもたちにも、カメラに映された半分のお顔ではなく、お父様、お母様のとびさりの笑顔を見せて、大きな声援を聞かせてあげてくださいね。

運動会、喜びに満ちた一日となりますように...